

医療用プラスチック包装容器の材料設計・事例・課題

講師：葛良忠彦氏 包装科学研究所 主席研究員（元東洋製罐株）

医薬品包装へのプラスチックの適用が進んでいる。そこで、医薬品包装に求められる特性と包装形態について概観し、PTP、輸液容器、注射剤容器などの薬剤包装のプラスチック化の現状について紹介する。また、最近急増している医療食・介護食の開発動向、およびアクティブパッケージングの医療包装への適用例についても紹介する

【講師経歴】

1965年3月 京都大学工学部高分子化学科 卒業
 1971年3月 京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻 博士課程 修了
 同年4月 東洋製罐(株)入社 東洋製罐グループ総合研究所 第3研究室 勤務
 1983年12月 McGill大学(カナダ) 化学工学科 Prof. Kamal研究室 研究員 (Post Doctral Fellow) (1年間)
 1989年7月 東洋製罐グループ総合研究所 調査企画室 室長
 2003年4月 東洋製罐(株) 定年退職
 2004年5月 包装科学研究所 主席研究員

【活動】

研究歴：オレフィン系コポリマー結晶の不完全性に関する研究（工学博士論文）／プラスチック材料の気体・水蒸気透過に関する研究／プラスチック包装・容器の成形加工
 専門分野：高分子結晶／プラスチック材料の成形加工
 関連学協会：プラスチック成形加工学会 評議員／日本包装学会 評議員、学会賞選考委員／SPE (Society of Plastics Engineers) 日本支部 理事／日本合成樹脂技術協会 理事
 著書：新しい包装材料（高分子学会）／わかりやすい実践ブロー成形（工業調査会）／プラスチック包装容器の科学（日本包装学会）／ハイバリアー性包装材料の製法と設計・加工技術および用途展開（技術情報協会）／機能性包装の基礎と実践（日刊工業新聞社）／PET樹脂のフィルム特性およびPETボトル製造法・適用例（情報機構）

開催日時	2016年12月12日(月) 13時30分～16時30分	会場:	ちよだプラットフォームスクウェア 503会議室 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
受講料	42,000円(税込) ※資料代含 * メルマガ登録者は39,000円(税込) * アカデミック価格は25,000円(税込)		

★2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合2人目は無料です。★【セミナー対象者】医薬品企業の包装担当者およびセールスエンジニア、医薬品製造業の技術者。★【セミナーで得られる知識】各種医薬品包装へのプラスチックの適用例、各種プラスチック包装の製造法と特性、医療食・介護食の開発動向、アクティブパッケージングの医薬品包装および医療食・介護食への応用例

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. 医薬品包装の要求特性と包装形態	3-1 輸液用プラスチック容器
1-1 医薬品包装の目的	3-2 プラスチックアンプル
1-2 外的要因と製品保護要因	3-3 プラスチックバイアル
1-3 法規制	3-4 プレフィルドシリンジ
1-4 剤形と包装形態および機能	3-5 点眼剤容器
1-5 包材に求められる特性	4. 医療食・介護食の包装
2. 固形医薬品の包装	4-1 流動食・栄養剤用ソフトバッグ
2-1 固形剤のバルク包装容器	4-2 嚥下食・キザミ食
2-2 SP、分包	4-3 レトルトによる医療食・介護食
2-3 PTPシートの対する要求特性と諸物性	4-4 無菌充填による流動食
2-4 PTPの成形法	5. アクティブパッケージングの医薬品包装への適用
2-5 塩ビ代替PTPシートの開発動向	5-1 水分吸収包装
3. 液状医薬品の包装	5-2 アクティブバリア包装

弊社記入欄		セミナー申込書	
セミナー名		医療用プラスチック包装容器の材料設計・事例・課題	
所定の事項にご記入下さい		会社名(団体名)	TEL :
メルマガ会員、登録希望の場合は○↓		住所 〒	FAX :
		E-mail :	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
		氏名	
お支払方法		銀行振込・その他	
		お支払予定	2016年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上、FAXまたはE-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789